

「 **コロンブス・デー** 」 (**協同組合通信/日和見論弾**) **15.10.15**

西洋による新大陸・アメリカ発見を記念し、10月第2月曜日は合衆国の祝日・コロンブス・デー。アメリカ人にはとても偉大で大切な意義ある日。

一四九二年、最初の発見地は米国本土ではなく、バハマ諸島のサンサルバドル島。ベネチア出身のクリストファー・コロンブスは、気候・風土の類似からエスパニョーラ島(スペインの島)と命名。イザベラ女王に探検の成果報告。彼らは先住民族をインド人と思っていた。アメリカ・インディアンの言葉の起源。

ルネッサンス文化は三大発明のハイテク技術を生んだ。15世紀後半、ヨーロッパ列強は富と新領土を求め、世界の海へ船出競争。いわゆる大航海時代。マルコポーロの頃より、インド・中国・ジパングは関心の的。東へ西へと羅針盤が大活躍。羅針盤の発明者は中国人で実用化はイタリア人。以後、アジア諸国の多くはゴムのプランテーションに始まる格好の植民地。極東の黄金の島日本は、四囲の海と気象条件に恵まれ独立国家徳川幕藩体制。

当時の強国はオランダ、スペインにポルトガル。ドレイクがスペイン・アルマダ(無敵艦隊)を破り、制海権を得る。歴史は大きく舵をきり、エリザベス女王の大英帝国の大躍進。戦略、戦術は元より必要不可欠。節目の時、意気に感ずる新興のエネルギーが爆発効果を示す。無言の歴史が語る栄枯盛衰。人は、何によって動き歴史の扉を開くのか、興味深い。

同じ位貴重な祝日・独立記念日。1976年、世界中の豪華現役帆船がハドソン川にセールを揃え、建国200周年大祝賀パレード。海、帆船、航海へ寄せる熱き国民の血潮。フロンティア精神の発揚、進取のシーマンズ・スピリットはヨットのワールドカップで最高潮の連続制覇。

各スポーツで、W杯が世界の最も価値ある祭典。中でも、ヨットレースに寄せる熱き思いは、海洋国家の英知と技術を集積のビッグイベント。優勝したスキッパー(艇長)は、現代の英雄。世界中が尊敬賞賛する。イラク、イランに北朝鮮でイライラの募る米国民が、初心に帰る敬虔な春と秋の日。

祝日に無感動の我国に今こそ必要な一日の重さがある。

(**気象情報システム株式会社 高津敏**)